

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

頭部 CT 画像上の被殻出血の広がり と 機能的 予後 と の 関係

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年 10月1日から2022年11月30日までに昭和大学藤が丘病院に入院し、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院回復期リハビリテーション病棟に転院された被殻出血の患者さんを対象としています。

2. 研究目的・方法

被殻出血の機能的予後予測には、脳卒中外科研究会のCT分類(以下CT分類)を用いることが一般的ですが、同じ分類でも機能的予後に差がある場合があります。そこで、本研究の目的はCT分類で用いる基底核レベルの1スライスだけでなく、複数のスライスの影響も考慮して被殻出血の機能的予後について調査し、画像所見からリハビリテーション実施方針の検討が可能かを検討します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から以下の情報を収集します。

患者背景(年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、現病歴、在院期間)

臨床検査画像(頭部CT画像)

リハビリテーション評価(身体機能、動作能力)

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学藤が丘病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学藤が丘病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院から昭和大学保健医療

学部へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6．研究組織

研究責任者	昭和大学大 保健医療学部	理学療法士・准教授	仲保 徹
分担研究者	昭和大学大学院 保健医療学研究科	診療放射線技師・教授	佐藤 久弥
分担研究者	昭和大学 保健医療学教育学	診療放射線技師・講師	大澤 三和
分担研究者	昭和大学 保健医療学部	診療放射線技師・講師	橘高 大介
分担研究者	昭和大学 保健医療学部	理学療法士・講師	本島 直之
分担研究者	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	理学療法士	高木 誓也

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学保健医療学部理学療法学科 氏名：仲保 徹

住所：横浜市緑区十日市場町 1865 電話番号：045-985-6544